

## プランニング Planning



## マネジメント Management



### 公園の“今”を調査し、 未来に向けた計画を立てる。

ふだん、暮らしの中で意識されることは少ない、公園や緑地の計画。しかしその計画は、自然環境の保全や、健康づくり、福祉、子育て、防災、地域コミュニティの在り方など、私たちが社会生活を営むうえで欠かせない、いくつもの要素と結びついています。私たちは、公園緑地をはじめ、さまざまな公共施設にかかわる調査・計画を手がけ、その公園がより良いかたちで地域に活かされるように幅広い支援を行っています。



### 公園の“目標”を設定し、 “管理・運営”のしくみを整える。

成熟した今の日本社会では、これまで均質的に整備されてきた公園を、その地域の特性や、利用者・近隣住民の方々のニーズに合わせて、より使いやすい公園、より社会に貢献できる公園へと、きめ細かく管理・運用していく取り組みが求められています。公園の目標設定から、事業の計画と実施、管理状況の報告・評価まで、その公園が使命を果たし、「なりたい公園」になるために、「マネジメント=事業経営の視点」を取り入れてコンサルティングを行っています。



### “声なき声”こそ大切に、 現況の把握に努める

その公園が、どのように利用されているのか。どのような人が近隣に暮らしているのか。利用者や、ふだん声をあげない“サイレント・マジョリティ”と呼ばれる方々は、どのような考えを持っているのか。公園利用の実態調査や、地域の方々へのヒアリングを行い、現況を細やかに把握することに努めています。

### 公園・緑地にかかわる計画を、 あらゆる面から支援

調査をもとに課題を整理・分析し、公園の基本構想や施策の方針を検討します。さまざまな自治体と連携しながら「みどりの基本計画」や「広域緑地計画」などの検討に取り組むとともに、住民の方々への提案や、そのために必要な資料・文章の作成、合意形成に向けたサポートも行っています。

### 「公園計画」ではなく、公園を活かした 「まち・地域・社会づくり計画」

公園の課題は、地域の課題であり、地域の力は公園から高めていくことができます。私たちは、対象を公園内だけに限定せず、地域の方々の心と体の健康づくりや、社会的なつながりを育む場、遊びと学習の場としての活用など、新しい需要を呼び起こし、新しい人を公園に呼び込んでいきます。

### 住民や利用者との行政、それぞれの立場を理解し、 バランスの取れた調整を

人口減少を基調とするこれからの日本社会では、今ある資源を効率的・効果的に活かすことが求められます。限りある地域の資源、住民や利用者の想い、行政の考え方やルール、法・制度、さまざまな面に配慮をしながら、客観的なエビデンスや分析に基づいて、バランスの取れた調整を試みています。

#### Case Study

##### 防災の観点から、災害時の公園利用を考える

阪神・淡路大震災が起こった時、わずかな荷物だけを持って公園に避難してくる方々の姿がありました。水や食料、トイレの供給、宿泊スペースの提供など、「身近な避難場所」として重要な役割を果たしてきた公園。災害時の公園利用にかかわる記録・調査や計画の策定にも積極的に取り組んでいます。



##### スポーツ・健康づくりのイベントを企画・運営

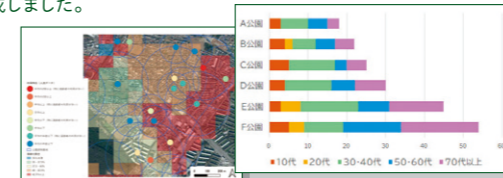
公園を活かしたスポーツ・健康づくりイベント「淀川河川公園ふれあいマラソン」の実行委員会に参画し、10年以上にわたって企画・運営を手がけています。障がいのある方も、子どもも、お年寄りも、誰もが同じイベントに参加し、交流を楽しんでもらえるようにプログラムを構成しています。



#### Case Study

##### 人流データに基づく公園利用予測と配置プラン

人流データを基にして、年代別の公園利用者数を分析。都市計画基礎調査と照らし合わせながら、公園の利用予測を行い、公園の配置プランを作成しました。



##### 社会実験の成果を反映し、都市公園を再整備

近年、都心にありながら存在意義を十分に発揮できなくなっていた神戸市の東遊園地。市は社会実験を繰り返し、その成果を反映させるかたちで再整備基本構想、基本計画を策定。私たちはパークマネジメントの手法検討や基本・実施設計業務(JV)などに参画し、東遊園地は新たなステージを迎えました。

